

2025年度

学都仙台単位互換ネットワーク

単位互換学生募集要項

東北福祉大学

2025年度 学都仙台単位互換ネットワーク特別聴講学生募集要項

1. 趣旨

この制度は、仙台圏などの大学及び短期大学並びに高等専門学校（以下「大学」という）が、大学等間交流と協力を推進し、大学等教育の活性化と充実に資するとともに、意欲ある学生に対して多様な学習機会を提供することを目的としております。

単位互換とは、他大学等で提供される授業科目を履修し、所属大学等の単位として認定される制度で、所属大学にはない多種多様な授業科目の履修が可能となります。

2. 募集人員

東北福祉大学では、提供する科目において、各大学より若干名の受入を行います。

受入予定数を上回る場合は、履修可能な人数に調整を図ります。

3. 提供科目及び授業概要

本要項の単位互換提供科目をご確認ください。

4. 出願等について

(1) 出願資格

学都仙台ネットワークに関する協定大学の学生であり、所属大学（以下、「派遣大学」という）の許可を受けた者。

(2) 出願手続

① 特別聴講学生願書（共通様式1号）

科目の履修を希望する学生は、「特別聴講学生願書（共通様式1号）」を派遣大学が定めた期日までに派遣大学の単位互換担当窓口に提供してください。

※東北福祉大学では、前期・後期ともに一括して4月17日（木）とします。

② 受入依頼書

派遣大学は、特別聴講学生から提出された願書をもとに選考を行い、募集締切日までに、「受入依頼願書（共通様式2号）」およびその他必要となる書類を本大学教務部教務課まで提出ください。

③ 履修届出等の提出

「受入依頼願書提出」とともに「履修届出（共通様式4号）」を提出してください。

④ 受入決定通知書

受入の決定については、所属大学を通じて出願者に通知されます。（共通様式3号）

5. 履修について

1年以内とし、履修しようとする授業科目の開講年度または開講時期とします。

6. 単位認定について

本大学からの成績通知に基づき、所属大学において認定されます。

7. 授業時間割

1 限目	2 限目	3 限目	4 限目	5 限目
8:40～10:10	10:25～11:55	12:35～14:05	14:20～15:50	16:05～17:35

8. 成績区分について

評価「秀」「優」「良」「可」は合格とし、「不可」は不合格とします。その基準は下記のとおりです。

【成績評価基準】「可」（60点以上）で単位認定

評 定	点数（100点満点）
秀	90点～100点
優	80点～89点
良	70点～79点
可	60点～69点
不可	59点以下

9. 入学金及び授業料

入学金・授業料は必要ありません。ただし、受講する科目によっては実費相当の経費が必要になる場合があります。

10. 特別聴講学生に係る学生証

国見キャンパス、ステーションキャンパスでの講義がある場合には「特別聴講学生証」を発行します。受け取りについては後日、ご連絡します。

※東口キャンパスでの講義は不要。

11. 施設利用

本学の施設利用については、原則として本学学生に準じます。ただし施設によっては、特別聴講学生証および所属大学の学生証の呈示を求める場合があります。

12. 通学方法

本学では自動車での通学は認めていませんので、公共交通機関等を利用してください。

13. 問合せ先

〒981-8522 仙台市青葉区国見 1-8-1

東北福祉大学 教務部教務課 TEL 022-717-3315 FAX 022-301-1280

以上

単位互換提供科目

提供科目	担当教員	開講時期	曜日時限	対象学年	備考
災害伝承学・次世代塾講座	水本 匡起	通年	月1回程度 土曜日 (予定)	全学年	

◆2025年度 第9期 311「伝える／備える」次世代塾 日程（案）

回	開講日	テーマと内容
1・2	5月17日	■座学 被災の現場①
		■座学 被災の現場②
3・4	6月14日	■座学 被災の現場③
		■座学 被災の現場④
5・6	7月12日	●現地視察 南三陸（旧防災対策庁舎など）
7・8	9月13日	●現地視察 仙台・名取（震災遺構荒浜小、名取市関上など）
9・10	10月11日	●現地視察 気仙沼（東日本大震災遺構・伝承館など）
11・12	11月15日	●現地視察 石巻（震災遺構 大川小など）
13・14	12月13日	■座学 被災者支援①
		■座学 被災者支援②
15	1月11日	■座学 ワークショップ
1月下旬 期末レポート提出		

受講
無料

河北新報社、東北福祉大、仙台市などが運営する「311『伝える／備える』次世代塾」は、東日本大震災の被災者や支援者から震災の教訓と災害への備えについて、座学と被災地の視察を通じて学ぶ通年講座です。第1～8期（2017年度～2024年度）は毎回多くの受講生が参加しました

大学生、若手社会人の受講生募集中！

震災の当事者の声を聞く



被災や支援の当事者の講話がメインの全15回。現地視察も予定しています



人生観、職業観を広げる



震災の当事者の職業や立場はさまざま。人生観や職業観も広がります

河北新報に記事を掲載



就職活動などの自己PRに活用してください

2大受講特典

河北新報データベースを無償提供

河北新報の過去記事を検索できるデータベースを無料で使えます。講座はもちろん、学校のレポート、企業の資料作りにも利用できます

修了証を交付

規定の回数を受講し、期末レポートを提出した人には「東日本大震災の伝承と防災啓発を担う人材」として修了証を交付します

募集要項・お問合せ

日時：2025年5月～2026年1月（全15回）

場所：東北福祉大学仙台駅東口キャンパス

ならびに東日本大震災の被災地

※人数により現地視察は選択制になる場合があります

311次世代塾推進協議会事務局

河北新報社 防災・教育室

電話 022 (211) 1591（平日10時～17時）

Email jisedai@po.kahoku.co.jp

お問合せ

修了生
の
感想



防災意識を高めることができました。ハザードマップや過去の災害状況を過信したことで犠牲や被害が出たと学び、災害に直面した際は、既存の知識や情報にとらわれず、目の前の状況に向き合いたいです
（大学1年）



自分の言葉で災害について話せるようになりましたと受講しました。講座を通じて、決断や行動が命を守ると学んだことから、自分にとって何が必要なのか調べ、どうするか想像することから始めようと思います
（大学1年）

運営団体

主催 311次世代塾推進協議会（代表・一力雅彦 河北新報社代表取締役社長）

運営中核 河北新報社、東北福祉大、仙台市

協力大学 東北大、宮城教育大、東北学院大、東北工業大、宮城大、宮城学院女子大、尚絅学院大、仙台白百合女子大、仙台大

連携・協力団体 学都仙台コンソーシアム、日本損害保険協会、みちのく創生支援機構

詳細・申し込みは裏面をご覧ください



受講費用は？

無料です

ただし、会場の東北福祉大仙台駅東口キャンパスまでの交通費は各自負担をお願いします

日程は？

第2土曜日が中心

座学は午前、現地視察は午後を予定しています。1年間で計15回のカリキュラムで震災に向き合います

講師は？

震災の当事者です

被災者、支援者、復旧・復興の現場責任者ら、震災の当事者が講師陣の中心。体験と教訓を話してもらいます

テーマは？

被災の現場を多様な切り口で

学校防災、避難行動、被災者支援、生活と地域の再生などの課題を学びます

会場は？

アクセスに便利な仙台駅東口

東北福祉大仙台駅東口キャンパス（旧・代ゼミ仙台校）です。津波被災地を訪れる現地視察も複数回、予定しています

現地視察は？

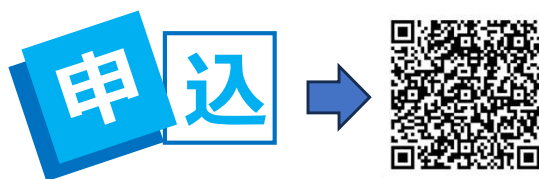
津波被害を受けた沿岸部を4回訪問

なるべく多くの人に参加してもらいたいと考えています。受講生の人数によって、訪問先を選んでもらいます

単位互換制度が利用できる場合があります

大学や学部により対応が異なります

学都仙台コンソーシアムの単位互換制度で東北福祉大学の提供科目になっています。詳しくは所属大学の担当窓口で確認し、必要な手続きをしてください



・QRコードを読み取り、申し込み専用フォームに入力して送信してください。

・以下にご記入し、FAX（022-211-1339）でもお申し込みいただけます。

切り取り線

氏名	(ふりがな)		
	(漢字)		
2025年4月の所属	(学校、会社名)	(学科、部署名)	学年 年
自宅住所	(郵便番号) —		
携帯電話番号	() - () - ()		
メールアドレス	※【0（ゼロ）⇔O（オー）】【1（いち）⇔I（エル）】【-（ハイフン）⇔_（アンダーバー）】など、判別しづらい文字にはよみがなを書いて下さい		
生年月日	西暦 年 月 日生 (歳)		
出身地	※市町村名まで記入		
東日本大震災時の所在、居住地	※市町村名まで記入		

【注意】 ※メールアドレスは、添付ファイル付きのメールを送受信できるよう、PCメールやウェブメールをご登録ください
 ※事務局のメールアドレス（jisedai@po.kahoku.co.jp）が受信できるよう設定をお願いいたします
 ※講座の様子は新聞など各種メディアで紹介します。取材、撮影にご協力をお願いいたします